(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6月 27 日

東京都知事 小池 百合子 殿

提出者

住 所 栃木県日光市大桑町138番地

氏 名 東武建設株式会社取締役社長 飯野 秀夫(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)電話番号 0288-25-3453 (安全環境システム部)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	都内各工事現場(八王子市を除く)
事業場の所在地	都内各所(八王子市を除く)
計 画 期 間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行	丁っている事業に関する事項
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	令和 5 年度 元請完成工事高 ¥ 2 5, 7 4 4, 6 1 2 千円
③従 業 員 数	358人
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別紙-1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	É廃棄物の処理に係る 管	管理体制に関する事項		
	(管理体制図)	別紙-2のとおり		
産業	 	こ関する事項		
		【前年度(令和5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	コンクリート片	ガラス陶磁器等くず
		排出量	573.83 t	126. 24 t
	①現状	(これまでに実施した時・型枠の転用回数をなる・搬入材の梱包材の簡素・養生材を繰り返し使用・木工事のプレカット加・金属くず、紙くずを分を削減する。	べく多くする。 化を進める。 する。 工を推進し、木くずの	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリート片	ガラス陶磁器等くず
	②計画	排出量	700.00 t	100.00 t
		(今後実施する予定のほ ・今まで実施してきた取		
産業	に廃棄物の分別に関する		京島 の毛術 ひょくひりしょり	明十て 野如 ト コンカ
	①現状	(分別している産業廃類リート片、廃アスファルラスチック、金属くず、採材・伐根材、繊維くく様用製品産業廃棄物(近取組)・解体工事における分別・カシンパック・「分類をめざす。」の目標である。	建設汚泥、紙くず、ダ 、廃石膏ボード、石綿 光灯) の徹底 ンテナの使用による分 別・リサイクルを徹底	が ラス陶磁器くず、廃プンボール、木くず、伐含有産業廃棄物、水銀 別の推進 し、混合廃棄物処分量
	②計画	(今後分別する予定の例 ・今まで実施してきた取	産業廃棄物の種類及び5 組を継続する。	分別に関する取組)

産業	廃棄物の	種類	廃プラスラ	チック類		金属くず			紙くず			木くず		
排	出	量		54. 10	t		14. 35	t		41.12	t		68. 59	
【目標】														
	廃棄物 σ)種類	廃プラスラ	チック類		金属くず			紙くず			木くず		
	発棄物 の出)種類 量	廃プラス	チック類 50.00	t	金属くず	10.00	t	紙くず	40.00	t	木くず	60. 00	

産 業	廃棄物の	種類	建設汚泥			建設混合廃棄物							
排	出	量	233.	97	t	29. 01	t	-	-	t		-	
【目標】													
【目標】)種類	建設汚泥			建設混合廃棄物							
	廃棄物 <i>0</i> 出)種類 量	建設汚泥 100.	00	t	建設混合廃棄物 50.00	t			t			

自ら	行う産業廃棄物の再生	上利用に関する事項		
		【前年度(令和5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	コンクリート片	ガラス陶磁器等くず
	小 田 (4)	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t
	①現状	(これまでに実施した) ・取組は、ありません。	取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリート片	ガラス陶磁器等くず
	(a = 1 = -	自ら再生利用を行う 産業廃乗物の量	- t	- t
	②計画	(今後実施する予定の) ・取組は、ありません。	取組)	
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
自ら	行う産業廃棄物の中間	L 引処理に関する事項		
		【前年度(令和5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	コンクリート片	ガラス陶磁器等くず
		自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t
	①現 状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
		(今後実施する予定の) ・取組は、ありません。	取組)	
		म्रह्मापुद्धः ४५५ द्व ५७०		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリート片	ガラス陶磁器等くず
		自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t
(②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
		(今後実施する予定の) ・取組は、ありません。	取組)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 廃プラスチック類 金属くず 紙くず 木くず 産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 金属くず 紙くず 木くず 自ら再生利用を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 廃プラスチック類 紙くず 産業廃棄物の種類 金属くず 木くず 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず 廃プラスチック類 金属くず 自ら熱回収を行う t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t 量する産業廃棄物の量

	別用に関する事項						
【前年度(令和5年度)				Г			
産業廃棄物の種類	建設汚泥		建設混合廃棄物				
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	-	t	- t	-	t	-	
【目標】							
産業廃棄物の種類	建設汚泥		建設混合廃棄物				
自ら再生利用を行う 産業廃乗物の量	-	t	- t	_	t	-	
	and the second s						
ら行う産業廃棄物の中間処 「【***ケロス・インス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・							
【前年度(令和5年度)			74 50 VE A charles				
産業廃棄物の種類	建設汚泥		建設混合廃棄物				
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	_	t	- t	_	t	-	
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	-	t	- t	_	t	-	
【目標】							
産業廃棄物の種類	建設汚泥		建設混合廃棄物				
	-	t	- t	-	t	-	
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量							
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	_	t	- t	-	t	_	

 自ら行う産業廃棄物の	(関する事項		
	【前年度(令和5年度)実	芙績 】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片		ガラス陶磁器等くず
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	-	t	- t
	(今後実施する予定の取扱がである。) ・取組は、ありません。	組)	•	
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	コンクリート片		ガラス陶磁器等くず
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃乗物の量	-	t	- t
産業廃棄物の処理の委	(今後実施する予定の取得 ・取組は、ありません。 を託に関する事項	組)		
	【前年度(令和5年度)集	 E績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片		ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	573. 83	t	126. 24 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	318. 41	t	126. 24 t
	再生利用業者への 処理委託量	573. 83	t	126. 24 t
①現状	認定熱回収業者 への処理委託量	_	t	- t
© 25.7K	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	-	t	- t
	(これまでに実施した取締を) ・管理部門で委託契約先の る。	• /	の不何	備をチェックしてい
	・電子マニフェストの利用 ・紙で交付したマニフェス			り集計し、処理が適正

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 金属くず 紙くず 木くず 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず 廃プラスチック類 金属くず 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t t t 産業廃棄物の量 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 金属くず 紙くず 木くず 全処理委託量 68.59 54. 10 14.35 41.12 t 優良認定処理業者 54. 10 14.35 32. 24 68.06 t t t への処理委託量 再生利用業者への 54. 10 14.35 41.12 68.59 処理委託量 認定熱回収業者 t t t t への処理委託量 認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 t t t t への処理委託量

【前年度(令和5年度)	実績】						
産業廃棄物の種類	建設汚泥		建設混合廃棄物				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	-	t	-	t	-	t	-
【目標】							
産業廃棄物の種類	建設汚泥		建設混合廃棄物				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	-	t	-	t	_	t	_
廃棄物の処理の委託に 【前年度(令和5年度) 産業廃棄物の種類			建設混合廃棄物				
【前年度(令和5年度)	実績】	t	建設混合廃棄物 29.01	t		t	
【前年度(令和5年度) 産業廃棄物の種類	実績】	t		t	-	t	-
【前年度(令和5年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者	実績】	t	29. 01 29. 01	t	-		- -
【前年度(令和5年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への	実績】 建設汚泥 233.97	t	29. 01 29. 01	t	-	t	- - -
【前年度(令和5年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者	実績】 建設汚泥 233.97 - 233.97 -	t	29. 01 29. 01	t		t	- - -
【前年度(令和5年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 の処理委託量	実績】 建設汚泥 233.97 - 233.97 -	t t	29. 01 29. 01	t t		t t	-
【前年度(令和5年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 の処理委託量	実績】 建設汚泥 233.97 - 233.97 -	t t	29. 01 29. 01	t t		t t	- - -

(第5面)

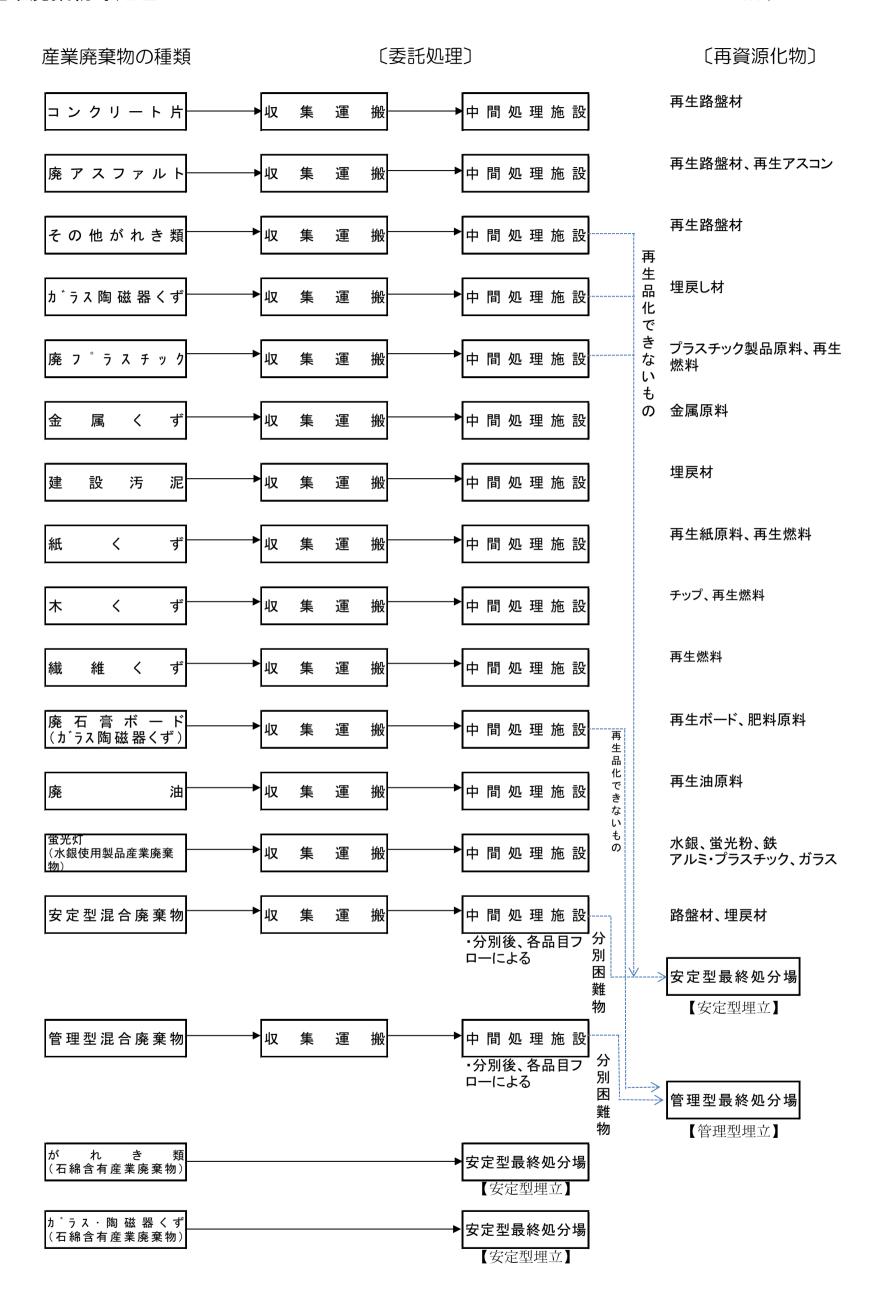
	(弗 3 囬)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類コンク	リート片	ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	700.00 t	100.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	300.00 t	80.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	700.00 t	100.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・今までに実施してきた取組を	子引き続き推進す	る。
※事務処理欄			

_				()(V = M)				
【目標	票】							
産	業廃棄物の種類	廃プラスチック類		金属くず		紙くず	木くず	
全	処理委託量	50.00	t	10.00	t	40.00 t	60.00	t
1	優良認定処理業者 への処理委託量	40.00	t	5. 00	t	30.00 t	50.00	t
Ī	再生利用業者への 処 理 委 託 量	50.00	t	10.00	t	40.00 t	60.00	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	_	t	- t	-	t
	忠定熱回収業者以外 対熱回収を行う業者 への処理委託量	_	t	-	t	- t	_	t

【目標】				
産業廃棄物の種類	建設汚泥	建設混合廃棄物		
全処理委託量	100.00 t	50.00 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	50.00 t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	100.00 t	50.00 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまての一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



		各部門	<u> </u>	里 委 員
各事業	部門	責任者	担当者(シ	(ステム管理委員)
			第一建築部	システム管理委員
建築	本 部	本部長	第二建築部	"
			管理部	リンフニノ笶田禾昌
土木	木 郊	本部長	土木部 通信環境部	システム管理委員
工 / /	수 다	本即区	管理部	<u>"</u> "
			土木工事部	 システム管理委員
古 占 -	+ +	十七日	軌道工事部	"
東京	支 店	支店長	鉄道部	"
			管理部	"
	18 46 、	1		
〔各工事	迟场 。	J		\neg
			各現場代理人	
			各現場代理人	